

理事会議事録

青松同窓会

日時 令和5年4月1日(土) 14時~15時00分
場所 附属天王寺中・高等学校3階 小講堂
出席者 藤井会長以下 45名

司会：池田希与子書記

議事

1. 会長挨拶

- ・コロナが完全に収束したわけでないが、社会活動も通常に戻りつつある。総会に関してはオンラインを併用した開催を行ってきたが、懇親会が実施できなかった。今年は4年ぶりとなる総会・懇親会を同時に開催することができそうである。多くの方に参加してもらいたい。
2月28日に挙行された附高65期生の卒業式に出席し、祝辞を述べる機会があった。人との出会いの素晴らしさを伝えさせてもらった。同窓会は横のつながりだけでなく、縦のつながりもあり、大事にしてもらいたいと。

2. 母校近況報告

- ・附中副校長 廣瀬先生より
学校もこの4月からマスクなしで学校生活を送ることができるようになった。少しずつ皆の顔が見える学校生活が戻ってくることを期待している。昨年10月以降の大きな行事として、学芸会、音祭、卒業式が行われた。学芸会では前年度に引き続き、舞台の上では声を出さないパントマイムを行い、その動きに合わせて声をあわせる形で実施した。前年度より舞台と声の一体感が出てきており、成長が伺える舞台であった。音祭では、3年ぶりに校歌を全員で歌うことができ、生徒の一体感を感じることができた。卒業式も全生徒が参列して行うことができた。
- ・附高同窓会担当 店田先生より
コロナの影響も限定的となってきたり、学校生活も日常に戻ってきた。音祭では衣装の制作やパフォーマンスも解禁され実施することができた。教育研究会も過去2年はオンラインでの実施であったが、3年ぶりに対面で実施することができた。やはり対面での実施は質疑応答が活発であり、充実した研究会となった。海外の提携校(アメリカとタイ)との交流もリアルで開催することができた。マラソン大会も久しぶりに長居公園を中高全員で走ることができ、白熱した大会となった。また、生徒がとても楽しみにしていた食堂が解禁となった。密にならないように利用制限を設けてはいるが、自治会がルールを決めて利用している。
- ・今年度の同窓会担当教員の紹介
中学は新たに木待先生が、高校は引き続き正垣先生、店田先生が担当いただける旨、紹介があった。

3. 令和5年度事業計画案の件（芳武副会長）

- ・総会・懇親会の開催、会報「青松」年2回(110号、111号)の発行、会報総集編の販売促進、理事会・常任理事会・4役会の開催、各支部会の開催、各委員会の開催、会費納入率の向上、住所不明理事の調査、同期会の活性化、終身会費制に対する計画案に対し、拍手を持って採決を行い、賛成多数で承認された。

4. 令和5年度予算案の件、令和4年度決算見直し（吉村会計）

- ・令和4年度の決算見直しの報告を行い、引続き令和5年度の予算案が提示され可決承認された。令和5年度は総会・懇親会開催に伴う総会当日会費の収入と総会費支出が予算案として計上された。また、その他雑支出に懸垂幕張替に関する費用を計上。会報送付・名簿管理業者が変更になるが、費用面では変わらない見込みであり、例年通りの費用としている。会を安定して運営していくためにも、会費納入率の向上が必要であり、同期会やOB会開催時に会費納入に関する案内を理事の皆さまから是非お願いしたい。

5. 令和5年総会・懇親会の件（平井副会長）

- ・総会は母校で実施してきたが、懇親会は4年ぶりに開催予定である。中学2で始まる「期」の学年を幹事として準備を進めている。懇親会では、中22期・高16期の射手矢好雄さんにミニ講演会をお願いしている。弁護士として世界を舞台に活躍されており、日本交渉学会の会長も務められている。当日は「交渉の極意、最後に笑うのは、あなただ！」を演題として講演いただく予定である。多くの方に聞いていただきたいと思います。

6. 会報送付、名簿管理業者変更の件（平井副会長）

- ・会報送付や名簿管理を依頼していた廣済堂ネクストより、同窓会管理業務から撤退するとの通知を11月に受け、新規事業者の選定を行った。その結果、株式会社サラトを次候補として考えている。サラト社は同窓会管理業務を専門に行っており2000校あまりを取り扱っている。同窓会管理業務に対するノウハウも有しており、今後の青松同窓会の運営にもメリットになると考えている。会費の振込みに関しても従来の郵貯振込みやコンビニ支払いに加えて、スマホ決済なども実施可能であり、会費支払がより手軽になる可能性もある。支払方法の拡充も考えていきたい。会報としての変更点は会報の大きさがB5からA4サイズに変更となり、様式は横書きとなる。管理事業者の変更、会報の様式変更に関して上記説明があり、拍手を持って採決を行い、賛成多数で承認された。

次号会報より新規事業者の元、進めていくこととなった。

7. 「懸垂幕」張替の件（藤井会長）

- ・昨年10月の理事会で承認いただいた懸垂幕張替に向けて作業を進めている。文字の色が褪せてきている以外に、周りの金属枠の劣化が認められ、枠の補修も必要であることがわかった。当初予定していた費用よりも補修費用代が追加となり合計57万程度となるが、今年度の予算に計上して進めていきたい旨説明があった。拍手を持って採決を行い、賛成多数で承認された。予定通り懸垂幕

の張り替えを進めていくこととなった。

8. 次号会報「青松」110号企画の件（植田常任理事、広報担当）

- ・管理業者の変更を機会に、縦書きから横書きに様式を変更して進めていく。横書きの方がレイアウトの自由度も高く、メリットも多いと考えている。B5からA4サイズに大きくなることから、写真等も大きく掲載でき、より読みやすい紙面にできると考えている。本日承認をいただいたことから、レイアウト含めて検討を進めていく。同期会の開催も活発になっており、次号ではその様子をお届けできるように充実した紙面としていきたい。

今後の行事予定

次回理事会

令和5年6月3日（土）14：00より

令和5年10月21日（土）14：00より

令和5年総会・理事会

令和5年6月17日（土）

ホテル都シティ大阪天王寺

総会 17：15~17:45

懇親会 18：00~20:30

以上

議事録作成人： 井上 周